

KISC

5 2018
May

公益財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center



ジャパンポーレックス株式会社
代表取締役 上岡 佳世子さん

今号の表紙



2017かごしまの新特産品コンクール
【工芸・生活用品部門】鹿児島県知事賞
ポーレックス お茶ミル・Ⅱ

ジャパンポーレックス株式会社

代表取締役 上岡 佳世子

＜企業概要＞

所在地 霧島市横川町上ノ1800
設立 1978年11月
従業員数 38名
事業内容 セラミック製品の開発、製造及び販売
TEL 0995-72-0307
FAX 0995-72-1434
URL <http://www.porlex.co.jp>
E-mail porlex@porlex.co.jp

今号の表紙は、「その時点で世の中に存在しないものをつくる」をコンセプトに、独自の特殊な成形方法により、使いやすく精巧なセラミック製の家庭用品を自社で企画・開発、製造・販売しているジャパンポーレックス株式会社の代表取締役上岡佳世子さんです。

同社は、主にセラミック製品製造のための技術開発を目的に1978年に大阪で設立。生産工場が手狭になり、1991年に霧島市の誘致企業として工場を移転しました。

2011年に代表取締役に就任した上岡氏は、工場で働く従業員や鹿児島の人々の強さと優しさ、素晴らしい風土に魅了され、鹿児島の魅力をもっとアピールしたいとの思いから、2016年に本社を大阪から現所在地に移転しました。

◇オンリーワンの技術でPORLEXブランドを世界へ

「特殊なセラミック成形技術」と「シリコンを高精度に密着させる技術」の2つの独自技術を駆使して、茶葉、コーヒー豆、塩、胡椒、胡麻等を手で挽くセラミック製の刃のミル類や、底面にシリコンの滑り止めを施した鋭利な刃のセラミック製おろし器、液ダレせず注ぐときにキャップを押さえる必要がない等使いやすさを訴求したしょうゆ差し製品を製造・販売しています。製品を生産する機械装置類も全て自社で開発・設計しています。

同社の主力製品は、「コーヒーミル」や「お茶ミル」等のミル製品。欧米で普及しているミル製品は刃の部分が金属や樹脂で作られていますが、この部分に独自の成形技術で製造した精巧で鋭利なセラミック製の刃を使用しています。摩耗しにくく錆びないセラミックの性質を生かして作られた刃は、金属臭もなく食品そのものの風味だけを楽しむことができます。

本社移転を契機に初出品した「お茶ミル・Ⅱ」は、「2017かごしまの新特産品コンクール」工芸・生活用品部門で鹿児島県知事賞を受賞しました。

この製品は、粒子径が30ミクロンを下回ると舌触

りが滑らかになるとされる中で、平均粒子径18ミクロンまで茶葉を細かく挽くことを可能にしました。粒度調節も簡単にできるので、お茶以外にも料理や菓子作りにも活用できます。さらに細かく挽く刃の研究開発も続けています。

また、実用的かつ洗練されたシンプルなデザイン、コンパクトなサイズで海外からの引き合いも多い「コーヒーミル」を中心に積極的に海外展開を図っており、現在36か国で販売、総売上の約4割を海外が占めています。

海外展開を進める一方で、出回っている模倣品対策のために、国内外市場においてPORLEXブランドを確立すべく、当センターの「外国出願支援事業」を利用した商標出願や、ミル装置の特許を取得しています。また、鹿児島県の自社工場で生産していることを強みととらえ、製品やパッケージに「made in Kagoshima, Japan」を表示しています。これは、製品に付加価値を与えると同時に、鹿児島を世界にアピールしたいという上岡氏の思いが込められたユニークな取組となっています。



コーヒーミル



おろし器

◇今後の取組

「良いものを作りたい、シンプルでベーシックという基本コンセプトは守りながら、小さな企業だからできる強みや、made in Kagoshimaという個性を生かした、面白く、楽しい物づくりを、日々試行錯誤を重ねながら取り組んでいきたい。」と、上岡氏は語ります。

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 よろず支援拠点相談コーナー
- 5 特集 かごしま産業支援センター 平成30年度主要事業の紹介
- 11 わが社の輝く女性！(株)ヒガシマル 福元 明日香さん 田代 梨緒さん
- 12 企業紹介 アロン電機(株)
- 14 取引振興コーナー
- 15 かごしま産業支援センター組織・機構

私の 思い



鹿児島県商工労働水産部長

田崎 寛二

昭和56年3月 慶應義塾大学法学部卒業後、鹿児島県入庁
雇用労政課長、人事課長、教育委員会事務局教育次長、土木監（併）工業用水道部長、県民生活局長、総括危機管理監（兼）危機管理局長を歴任
平成30年4月より現職

「イノベーションの創出と競争力のある産業の振興」

県内中小企業等の皆様には、県政の推進につきまして、かねてから格別の御理解、御協力を賜りますとともに、本県の商工業の振興に貢献していただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

現在、我が国経済は、緩やかに回復しており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種施策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。

また、県内経済については、有効求人倍率が高水準で推移し、緩やかに回復しているところであります。

県としましては、県内の景気回復の動きが確実なものとなり、地域経済の活性化と雇用の安定・確保が図られるため、農林水産物の販路・輸出拡大などの「攻めの農林水産業」の展開やIoT、AIなどの革新的技術の導入による、生産性の高い、競争力のある産業の振興を図るなど、県政発展や県民福祉の向上につながる各般の施策の充実に努めてまいります。

〔平成30年度主要新規事業〕

(1) 先端技術（IoT・AI等）事業化支援事業

人口減少により、国内マーケットが縮小傾向にあり、また、生産年齢人口の減少により、人手不足も顕著になってきている中、県内産業が活力を維持していくためには、新成長分野など、新たな

分野への挑戦やイノベーションなどによる生産性の向上等が重要となることから、IoT、AIなどを活用した生産工程の効率化、省エネルギー化などを推進し、中小企業等の生産性向上や競争力強化等を図ることとしております。

(2) 中小企業経営バックアップ事業

本県経済や社会の活力向上のためには、地域の経済を支え、牽引する担い手である中小企業等が発展・活躍していくことが重要であります。本県中小企業等においては、経営者の高齢化や人材不足の深刻化といった構造的な課題があります。

このため、中小企業の災害時等への備えや事業承継その他経営課題への取組をバックアップするため、事業継続計画の策定や事業承継に対する支援等を行い、中小企業経営の持続的発展を図ることとしております。

県といたしましては、今後とも、本県中小企業支援の拠点である公益財団法人かごしま産業支援センターと密接に連携しながら、中小企業の皆様の様々な事業展開への支援を通じて、皆様の御発展はもとより、本県経済の発展や雇用創出につなげていきたいと考えておりますので、同センターや各種事業の積極的な御活用をお願い申し上げます。

終わりに、皆様の益々の御発展・御活躍を心よりお祈りいたします。

よろず支援拠点
相談コーナー

成果が出るまでしっかりサポート！相談は何回でも無料！

奄美拠点開設で支援体制を強化

よろず支援拠点では、中小企業・小規模事業者のみなさんのあらゆるご相談に応じています。昨年度は、2,679名の相談者に、延べ6,372件のご相談を頂きました。店舗レイアウトの変更や経営改善をお手伝いし、売上アップに繋がる成果を上げました。

今年度は、活気を増しつつある奄美大島に拠点を設け、新たにコーディネーターを配置するなど、ご相談に迅速に対応する体制を整えました。ぜひご活用ください。



△ささエール君▽

奄美新拠点にコーディネーターが着任！

	<p>寶園 純一 (ほうぞの じゅんいち) 奄美拠点 コーディネーター</p>	<p>奄美大島在住8年になりました。奄美では、デザイン・ディレクション・コンサルティングが不足し、県外へ依存している状況です。それらの支援を行うことで、事業者さんのブランディングに寄与し、楽しく生業(なりわい)を継続して欲しい。そのためのお手伝いをして参ります。よろしくお願ひします。</p>
--	---	--

	<p>加藤 剛 (かとう たけし) チーフコーディネーター</p>		<p>山之江 清子 (やまのえ きよこ) サブチーフコーディネーター</p>
	<p>向江 隆行 (むかえ たかゆき) コーディネーター</p>		<p>松田 貴志 (まつだ たかし) コーディネーター</p>
	<p>小平田 貴子 (こひらた たかこ) コーディネーター</p>		<p>新地 美沙 (しんち みさ) コーディネーター</p>
	<p>鎌田 香 (かまた かおり) コーディネーター</p>		
		<p><専門分野> ブランディング・商品開発・企画デザイン</p>	

◇◇お気軽にご相談ください。ご予約は全て鹿児島県よろず支援拠点までどうぞ◇◇

相談申込み・問合せ先

◇鹿児島県よろず支援拠点

所在地：〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館1階
電話：099-219-3740 F A X：099-223-7117 E-Mail：yorozeu@kric.or.jp
【相談日】月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時（祝祭日を除く）

◇大隅よろず相談窓口（鹿屋市産業支援センター内に開設）

【相談日】毎週火曜日（完全予約制）・金曜 午前10時～午後4時

◇北薩よろず相談窓口（薩摩川内市産業支援センター内に開設）

【相談日】毎週木曜日 午前10時～午後4時（祝祭日、年末年始を除く）

◇指宿地域相談会（指宿商工会議所内に開設）

【相談日】毎月第4金曜日 午前10時～午後4時

◇奄美大島よろず相談窓口（奄美大島商工会議所・県大島支庁内に開設）

【相談日】毎週水曜日 午前9時～午後5時



かごしま産業支援センター 平成30年度主要事業の紹介

当財団では、平成30年3月に理事会、評議員会を開催し、平成30年度の事業計画を決定しました。概要は次のとおりです。

1 新事業創出等支援 181,404千円

コーディネーターによる総合的・先進的経営アドバイス、経営・技術専門家の派遣、創業者に対する助成、企業のチャレンジを担える人材とのマッチングをサポートするなど、新事業の創出と新産業の育成を支援します。

・よろず支援拠点事業

中小企業の相談に応じて、課題解決に最適な支援を行う「よろず支援拠点」を当センターに設置
 <支援内容>

- 1 専門性の高い経営アドバイス
 売上拡大や経営改善等の経営相談に応じて解決策を提示します。
- 2 課題解決のための総合調整
 他の支援機関との連携を強化し、適切な支援機関の紹介、相互連携の調整等を行います。
- 3 他の支援機関に対する支援ノウハウの共有
 蓄積されたノウハウを他の支援機関にも共有します。



よろず支援拠点相談コーナー

29年度実績	相談者数：2,679人、相談対応件数：6,372件
--------	---------------------------

・専門家派遣事業

経営の向上を目指す企業の経営診断・助言を行う専門家の派遣（1企業あたり年間10回程度）

29年度実績	13件（のべ70回派遣）
--------	--------------

◇新規事業◇

・プッシュ型事業承継支援高度化事業

承継コーディネーターを設置し、県と共に事業承継の支援戦略を策定する。

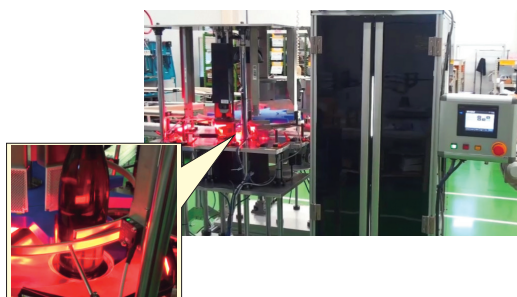
また、ブロックコーディネーターを設置し、事業承継診断の実施や、県が事務局となっている事業承継ネットワークが掘り起こした支援ニーズに対して、地域の専門家と連携して個別支援等を行う。

・中小製造業者創業・新分野進出等支援事業

創業や新分野進出、規模拡大に取り組む中小製造業者を総合的に支援

対象業種	自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連産業
支援内容	経営計画の策定、経営計画の実施（試作・研究開発、人材育成、マーケティング・販路開拓、専門家の招へい）
助成率等	2/3以内又は1/2以内（限度額 支援内容により80～400万円）、助成期間 3年度以内
29年度実績	25件

主な実績



《アロン電機㈱：
液中異物検査装置》



《西農園㈱：
県内産米、焼酎
用白麴の甘酒》

・起業者スタートアップ支援事業

起業を通じた新たな雇用の創出や若者・女性の活躍の場の拡大、地域の活性化を図るため、卸売業、小売業、サービス業を起業予定の方、または起業後2年未満の方（平成30年4月1日時点において）を対象に、創業初期に要する経費の一部を助成

対象業種	卸売業、小売業、サービス業（一部対象外あり）
対象経費	店舗改装費、設備費、広報費、外注費、旅費等
補助率等	2/3 以内（限度額 1,000 千円）
対象地域	鹿児島県内全域
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若者（30歳未満）、女性、県外からの移住者、過疎地域等で起業する方には、採択に当たり一定の配慮を行います。 ・過去に「地域活性化起業家支援事業」の「地域活性化スタートアップ支援事業」による助成を受けた方は応募できません。 ・「平成29年度起業家スタートアップ支援事業」による助成を受けた方は応募できません。
29年度実績	64 件

主な実績



〈Patisserie Bonappetit〉
鹿屋市：洋菓子製造販売



〈PERICO cafe〉
鹿児島市：カフェ



〈暮らしの宿 福のや、〉
南九州市：簡易宿泊所

・プロフェッショナル人材戦略拠点事業

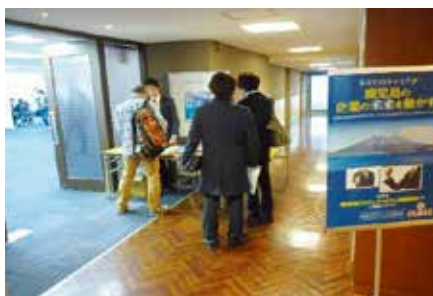
潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新製品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を担うことのできる人材と企業とのマッチングをサポートします。

＜支援内容＞

- 1 「攻めの経営」への転換促進（意識喚起）
- 2 プロ（専門）人材雇用の決断促進（人材ニーズの具体化）
- 3 プロ（専門）人材とのマッチング支援（人材ニーズの取次）
- 4 フォローアップ

29年度実績	相談件数：174件、取次件数：111件、成約件数：23件
--------	------------------------------

主な実績



《かごしま転職フェア in Tokyo》

2 戦略的産業振興支援 54,819千円

自動車、電子、食品、新成長産業（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連産業）に関する経営計画作成等や新技術等開発、食品関連の販路開拓や食品加工技術の強化のための研究開発、生産整備体制に向けた取組などを支援します。

・中核的企業創出プログラム事業

経営計画の作成、計画の実施に要する経費の一部助成

対象業種	自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業、航空機関連産業
支援内容	経営計画作成、経営計画の実施（新技術・新製品研究開発、先進企業への派遣、専門家の招へい、商談会・展示会への参加）
助成率等	2/3以内（限度額 総額1,200万円以内）、助成期間 2年度以内
29年度実績	4件

・重点業種研究開発支援事業

新技術、新製品の研究開発に要する経費の一部助成

対象業種	自動車、電子、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連産業
支援内容	新技術・新製品の研究開発
助成率等	2/3以内（限度額 年400万円以内） 助成期間 2年度以内
29年度実績	5件

主な実績



《東フロコーポレーション(株)：
IDS集積フローコントロールユニット》



《(株)秦野精密：研究対象の自動車部品》

・食のプレミアム商品開発支援事業

（新かごしま「食」と「職」の魅力向上・加速化プロジェクト）

国内外の有力な市場を対象に、本県の豊富な一次産品を生かしながら、現地のニーズに対応した新商品開発や販路開拓など、県内の食品関連事業者が行う付加価値向上等に向けた取組を支援

- 1 セミナー・個別相談会の開催（セミナー1回、個別相談会等1回）
- 2 補助事業の実施

支援内容	専属人材の件数費、専門家等の招へい、商品の開発・改良、マーケティング・調査、商談会の出展等、販路開拓・販路拡大
補助率等	7/10以内（標準事業費 540万円） 事業期間（事業計画毎に1年以内）
29年度実績	セミナー2回、個別相談会4回、補助企業 8社

主な実績



《上野食品(株)：タケノコギフトセット》



《福山黒酢(株)：生フルーツ黒酢》



《鹿児島くみあい食品(株)：ピーチサンルージュ》



《(株)下園薩男商店：焼海老辣油》



《(株)全笑：長寿の島の柚子七味唐辛子
長寿の島のセサミン(白ごま)》



《(株)YSフーズ：スマイルケア食品シリーズ
さばの味噌煮・さばの醤油煮・いわしの醤油煮》



《(株)和香園：フレーバークリーントイー(ゆず)》

・食品加工技術レベルアップ支援事業

（新かごしま「食」と「職」の魅力向上・加速化プロジェクト）

食品関連企業の加工技術強化を図るため、マッチングコーディネーター1名を配置し、食品製造業者の技術的ニーズと機械製造業者のもつ技術的シーズのマッチングを行い、機械装置の試作開発を支援するとともに、大学等でラボツアーを開催し新たな加工食品の開発を促進

29年度実績	機械装置の試作開発：2件、現地調査：企業等158件、ラボツアー：1回、公募型事業獲得サポート：公募事業合同説明会1回
--------	--

主な実績



《機械装置の試作開発》



《ラボツアーでの研究シーズ発表》

・食品関連産業「カイゼン」定着支援事業

（新かごしま「食」と「職」の魅力向上・加速化プロジェクト）

食品関連企業のものづくり企業としての意識の向上や高次な生産管理手法を用いて徹底したコストダウンを実践できるような生産体制を整備し定着させることで、企業の利益拡大を図り、新商品開発や販路開拓への取組を促進するとともに、現場の意識改革を醸成し職場環境を向上させるため、カイゼンインストラクター2名を設置し、生産管理等に関する相談・助言を行う。

- 1 企業訪問による生産管理・カイゼンの助言
- 2 食の「カイゼン」ゼミ開催支援
- 3 セミナー開催

29年度実績	企業訪問334社350回、食の「カイゼン」ゼミ62社62回、セミナー4回
--------	--------------------------------------

3 地域資源活用支援 7,056千円

地域資源の活用や開発、農林漁業と商工業の連携による新商品等の試作品開発・販路開拓等の助成により、新事業の創出を支援します。

・地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業

地域資源（農林水産物・観光資源等）を活用し、事業化を目指す中小企業者等、若しくは農商工連携の促進に資する取組における研究開発、試作品開発、販路開拓等に要する経費の一部助成

支援内容	新技術・新製品・新サービスの開発、製品の高付加価値化、生産システムの改良・高度化、商品デザインの開発、販路開拓等
助成率等	2/3以内（限度額 年300万円以内）、助成期間 単年度
29年度実績	5件

主な実績



《株式会社竹之内組：垂水市産赤エビを活用した「とんとこ海老のスープ」》



《株式会社奥建具製作所：移動式和室「和のくかん」》

4 研究開発・技術支援 12,672千円

産学官の連携、大学等技術シーズのマッチング、新技術・新製品開発及び外国出願等への助成などにより、研究開発や技術を支援します。

・中小企業等外国出願支援事業

外国の特許出願等に要する経費の一部助成（特許、意匠・商標・実用新案、冒認対策商標）

支援内容	特許等の出願手数料、代理人費用、翻訳費用等
助成率等	1/2以内（限度額 1企業につき300万円、1出願につき30～150万円）助成期間 単年度
29年度実績	5件（特許2件、商標3件）

・新事業研究開発助成事業

技術高度化を志向する中小企業等の研究開発に要する経費の一部助成

支援内容	新技術・新製品・試作品の研究開発、生産工程の合理化、製品の高付加価値化等
助成率等	2/3以内（限度額 300万円）助成期間 単年度
29年度実績	1件

主な実績



《株式会社DIT：静的せん断載荷実験》

5 マーケティング等支援 29,201千円

新製品等の国内外への販路開拓、商談会の開催、受注機会や販路の拡大等、市場ニーズ調査結果の事業化等の支援を行うとともに、専門調査員の巡回、企業の登録・取引紹介あっせんなどにより、マーケティング等を支援します。

・ベンチャープラザ鹿児島「二水会」開催事業

ベンチャー企業に新製品・新技術等の発表の場を提供し、販路拡大等の取組を支援（年3回）

29年度実績	3回開催（県内企業9社、県外企業3社発表）
--------	-----------------------



《ベンチャープラザ二水会》

・新事業参入調査支援事業

新分野参入等の事前調査等に要する経費の一部助成

支援内容	新分野、新市場参入に係る事前調査、製品企画
助成率等	2/3以内（限度額500千円）、助成期間 単年度
29年度実績	1件

・国内(海外)新市場開拓事業

新市場開拓を図るための国内、海外の展示会出展、市場調査に要する経費の一部助成

支援内容	国内外における展示会への出展及び展示会での市場調査（アンケート）
助成率等	2/3以内（限度額 国内500千円（海外1,000千円））、助成期間 単年度
29年度実績	18件

・製造業海外取引支援事業

海外への取引拡大を図ろうとする県内製造業者を対象に、取引可能性調査（現地視察）等を実施し、新たな海外企業との取引を支援

29年度実績	取引可能性調査1回（台湾）
--------	---------------

主な実績



《取引可能性調査（台湾）》

・**ビジネスマッチング支援事業**

県外の発注企業等を本県に招へいし、県内受注企業との商談会等を開催して、新規販路開拓を支援

(かごしま取引商談会12月11日開催予定 ミニ商談会適宜開催予定)

29年度実績	かごしま取引商談会（12月12日） 参加企業（発注：29社、受注：52社）取引成立：12件
--------	--



《かごしま取引商談会》

・**新規販路開拓支援事業**

県外で開催される展示会に当センターがブースを確保し、出展を希望する県内中小企業に展示スペースを提供して、新規販路開拓を支援（機械要素技術展の東京（6月20日～22日）は3小間、大阪（10月3日～5日）は2小間、メッセナゴヤ（11月7日～10日）は3小間確保し、出展を支援

29年度実績	機械要素技術展の東京（6月21日～23日）は3小間6社、大阪（10月4日～6日）は1小間3社、メッセナゴヤ（11月8日～11日）は3小間3社の出展を支援
--------	--

◇**新規事業**◇

・**県外医療機器開発展示会出展事業**

大阪で開催される関西ヘルスケア・医療機器開発展にブースを確保し、県内企業が試作・研究開発した製品の展示・PRを行い、新規販路開拓を支援（平成31年2月20日～22日）

・**モノづくり情報収集提供事業**

受発注情報の収集提供や九州7県合同広域商談会の開催等により、県内中小企業の販路の拡大を支援

29年度実績	受発注企業訪問：319社、九州7県合同広域商談会（11月28日）本県参加受注企業：23社 取引あっせん：229件、取引成立：71件
--------	--

・**下請かけこみ寺事業**

中小企業が抱える取引に関するトラブルなどの相談の受付や移動弁護士相談会（県内4か所）の実施等

29年度実績	窓口相談：19件、無料弁護士相談：2件、移動弁護士相談会：4回開催
--------	-----------------------------------

6 情報化支援 6,972千円

各種支援事業や企業経営に役立つ情報等の提供を行うとともに、専門家派遣や会員に対するIT情報の提供などにより、情報化を支援します。

・**情報支援事業**

インターネットやメールマガジン等による情報提供

29年度実績	地元新聞への中小企業経営情報掲載：36回、メールマガジン配信実績：57回
--------	--------------------------------------

・**情報会員支援事業**

会員企業に対し、情報誌「KISC」（年4回）等の提供、IT操作技術等に関する講師派遣、ホームページ作成費用等の助成

29年度実績	情報誌「KISC」発行（5、8、11、2月） 情報化人材育成事業（社内パソコン研修・IT出前講座）：25社 ホームページ作成支援事業助成企業：9社
--------	---

わが社の輝く女性！

今号は、美味しくて安心安全な『食』を追求して創業71年、「ヒガシフーズ」のブランド名で乾麺、即席めん、皿うどん等の製造・販売を行っている株式会社ヒガシマルの食品製造部で製造ラインを担当されている福元明日香さんと田代梨緒さんです。



所在地：日置市伊集院町猪鹿倉20番地

創業：1947年3月

事業内容：

食品事業 乾麺、即席めん、皿うどん等の製造・販売

水産事業 養殖用配合飼料の製造・販売

TEL：099-273-3859(代表)

099-273-4652(食品製造部直通)

FAX：099-273-3857(食品製造部直通)

URL：http://www.k-higashimaru.co.jp/



◆会社紹介

弊社は1947年3月に製めん業を開始しました。

食品事業は、この製めん業を中心に乾麺、即席めん、皿うどん等の製造・販売を行っております。

水産事業では、国内トップシェアのクルマエビ飼料類を中心にハマチ飼料類、各種養魚用配合飼料の製造・販売を行っております。

2部門とも共通することは『食』です。

これからも美味しくて安心安全な『食』を追求して参ります。



◆会社での担当部署

現在、私たちは食品製造部 製造課に所属し、主に即席めん、皿うどんの製造ラインを担当しています。

仕事内容は、出来上がったばかりの揚げ麺やインスタントラーメンをスープと合わせて包装したり、製品の検品や機械の調整等、多岐に渡ります。

責任のある仕事なのはもちろんですが、機械を取り扱う為、危険とも隣り合わせです。

いつも気を引き締め、お客様の喜ぶ顔を思い浮かべながら、安心安全な品質の高い製品を製造しています。

食品製造部 製造課 福元 明日香さん

平成19年入社
市来農芸高等学校卒
いて座
◇趣味は花の鑑賞です。



食品製造部 製造課 田代 梨緒さん

平成23年入社
吹上高等学校卒
しし座
◇趣味は旅行で
観光地めぐりです。



◆入社のきっかけは

幼い頃からヒガシマルの工場見学をしたり、スーパーで商品を見かけたり、日頃からヒガシマルの商品に親しんでいました。

就職活動でヒガシマルの求人を見て応募し、入社することが出来ました。

◆仕事上での印象深い体験談

現在、即席ラーメンや皿うどんの製造ラインで、検品作業を行っています。初めてラインについた時は、目が回って流れについていけない時がありました。

その時は決まって朝食抜きだったり、寝不足だったり、規則正しい生活ができていなかった事が原因でした。当たり前前の事ができておらず周りに迷惑をかけてしまった苦い経験があります。

今年、主任という役職をいただきました。

今後は自分の体験をもとに部下や後輩を指導していきたいです。

◆入社のきっかけは

就職活動が始まり、学校にきている求人を見ていて、私の育った地元の会社があり、地元になんか貢献できたらと思い入社しました。

◆会社への思いや抱負を、お聞かせください。

あっという間に入社8年目です。その間多くの後輩が入社してきました。今ではその後輩達の指導も任されています。今後、後輩にわかりやすく教えられるように心がけていきます。

そして今まで以上に責任を持ち、仕事に取り組むように私も頑張っていきたいです。



企 業 紹 介

■会社概要

当社は、地元で雇用を作りたいとの思いから、さつま町の誘致企業として1971年に創業しました。

創業当初は接点の加工メーカーとしてスタートし、現在は、その技術を発展させ、金型・治工具・装置部品の精密加工、半導体製造装置等の製造、メッキラック治具・工具等の製造及び画像処理による検査機器の開発・製造、自動機・省力化機器の開発・製造を行っています。

自動機器でナンバーワンになるというビジョンのもと、ニッチな設備機器及びサービスを提供し続けたいと考えており、装置機器や自動機器及び金型治工具にサービスを付加することで、お客様や社員及び社会の役に立つ企業を目指しています。



社屋全景

■当社の優れた技術

5軸マシニングセンター、スライサー、放電・研磨加工機等を利用した精度・難易度の高い金属部品の加工を行っています。主要製品は、金型、半導体装置部品、治工具です。

金型は、ロール金型、ハニカム金型、砥石金型など、非常に特殊な金型を製造しており、かごしま産業支援センターの「中小製造業創業・新分野進出等支援事業」を活用して、自動車・農業機械のディーゼルエンジンの排気ガス浄化セラミックフィルターを押し出成形するための深溝ハニカム金型を開発し、押し出成形の不良率の低減と金型の長寿命化を達成しています。

半導体装置部品は中核の部品、心臓部の部品を製造、治工具はゴムテーブル、メッキ治具、収納トレイなどを製造しております。

省力化装置では、画像処理技術を活用した検査装置を開発し、蓄積したノウハウで検査工程の省力化を図り、お客様の要望に応じた提案をさせて頂いております。液中の異物や切削工具の割れ・欠け等をミクロン単位で検出する「液中異物検査装置」や「切削工具画像検査機」などを製造しています。

現在は、ドリル・エンドミルの摩耗、チッピングを最小検出サイズ0.005mmで計測する高精度画像検査装置を開発中です。

プロセスでも強みを持つと考え、競合他社ではやりたがらない多品種少量生産のユニットの受注を短納期で引き受けています。それを実現するために



代表取締役
坂元 剛

所在地：薩摩郡さつま町永野950

創業：1971年2月

資本金：3,512万円

従業員数：113名

事業内容：金型治工具の製造、半導体製造装置の製造、自動機・省力化装置等の製造、電気機器その他の製造

T E L : 0996-58-0331

F A X : 0996-58-0365

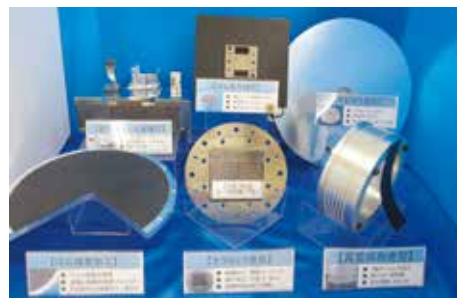
U R L : <http://www.aron.co.jp>

E-mail : aron@aron.co.jp

様々な支援システムを開発しています。

刃物や部品、工程表やユニットの組立手順をデータベース化し、バーコードで管理し取り出すシステムや、タブレットを活用して工程表の手順を動画や画像で確認できるシステムで、在庫管理や業務の効率化、作業の標準化につながっています。

また、かごしま産業支援センターの支援事業を活用し、東京や大阪などの展示会にも積極的に参加し、多彩な加工技術や装置をPRする機会となっています。



金型・治工具

■当社の企業理念

【ミッション】

優れた技術と品質で新しい価値を創造し全社員の幸福追求と豊かな社会に貢献する

【コアバリュー】

1. 誠実であること
2. 顧客に信頼されること
3. 革新的で常に改善を目指すこと

【行動規範】

お客様のために正しいことをする

■今後の展望・抱負

機械加工部門では、差別化した部品の受注を可能にするために、現在5台保有している5軸加工機の倍増と、それに伴う技術者の育成を計画しています。そのためには人材育成の方法、管理システムの整理が必要だと考えています。

装置部門では、検査装置関係の販売体制の確立です。

現在は製造技術を主軸としておりますが、提案型の企業への変革をスローガンに掲げて、技術と品質を磨き、新しい価値を創造し続けていきます。

◆◆◆ 取引振興コーナー ◆◆◆

展示会への出展支援や商談会開催により、県内中小企業の新たな販路開拓を支援します。

出展支援予定の展示会

- ・機械要素技術展（東京） 平成30年6月20日～22日 東京ビッグサイト
- ・機械要素技術展（大阪） 平成30年10月3日～5日 インテックス大阪
- ・メッセナゴヤ（名古屋） 平成30年11月7日～10日 ポートメッセなごや
- ・関西ヘルスケア・医療機器開発展（大阪） 平成31年2月20日～22日 インテックス大阪

開催予定の商談会

- ・かごしま取引商談会（鹿児島市） 平成30年12月11日 ホテルウェルビューかごしま
発注企業30社程度と県内受注企業60社程度が一堂に会して、商談会を開催します。
- ・ミニ商談会（適宜開催）
外注案件のある発注企業の希望により開催します。

※ 詳細は募集時に、当センターのホームページ・本誌等でお知らせしますので、積極的にご活用ください。

製造事業所の皆様へ

経済産業省

経済産業省では、工業統計調査を平成30年6月1日現在で実施します。本調査は、製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

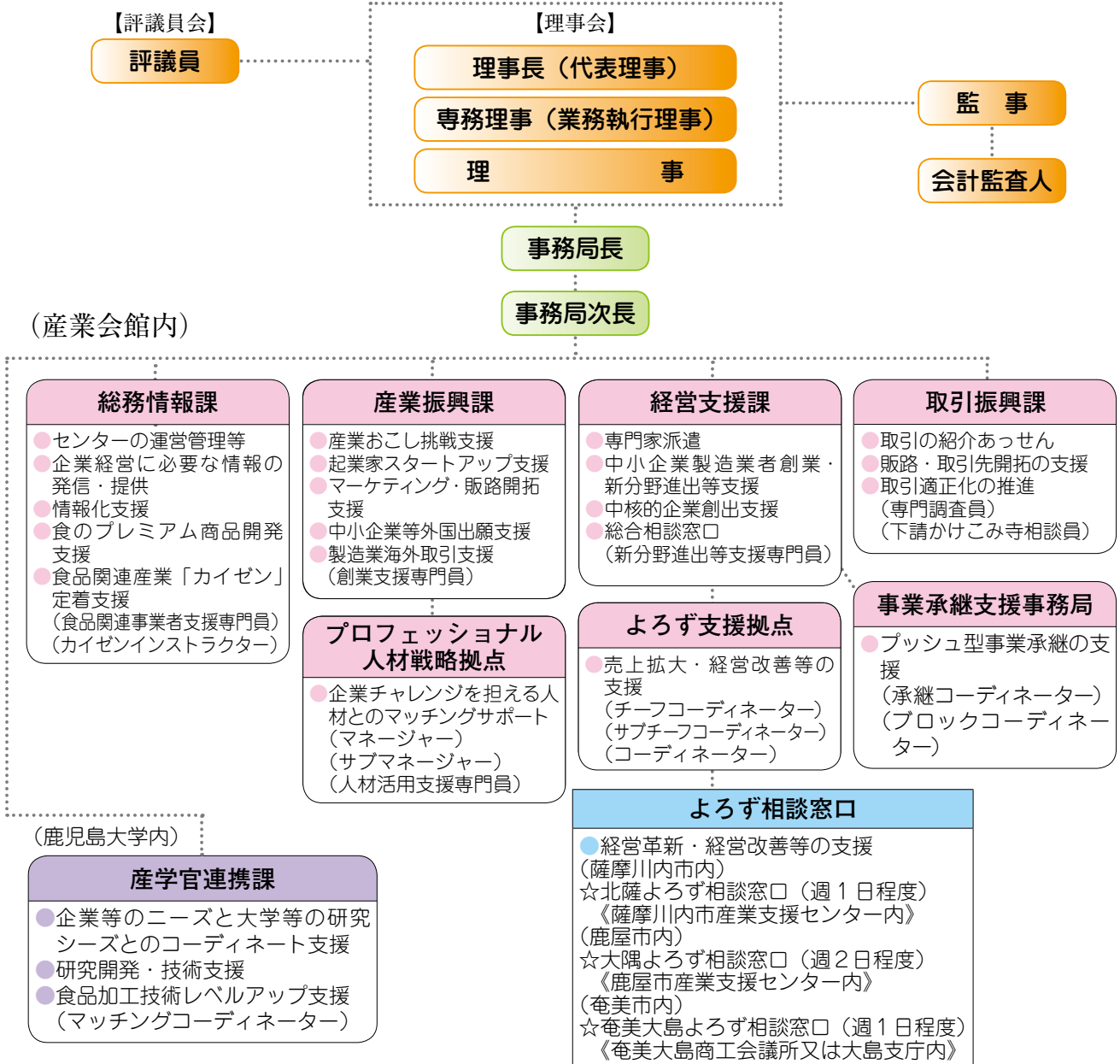
本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。

調査をお願いする製造事業所には、本年5月中旬から6月にかけて、調査票を統計調査員が持ってお伺いするか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は保護されますので、正確なご記入をお願いします。



(公財) かごしま産業支援センター組織・機構



INFORMATION TEL・FAX・メールアドレス

課名	TEL	FAX	メールアドレス
総務情報課 〃 (情報)	099-219-1271 099-219-1275		setubi@kric.or.jp info@kric.or.jp
産業振興課	099-219-1272	099-219-1279	ikusei@kric.or.jp
経営支援課	099-219-1273		keiei@kric.or.jp
取引振興課	099-219-1274		torihiki@kric.or.jp
産学官連携課	099-214-4770	099-214-4771	sangaku@kric.or.jp
よろず支援拠点	099-214-3740	099-223-7117	yorozu@kric.or.jp
北薩よろず相談窓口 (薩摩川内市産業支援センター内)	(注) 相談予約はよろず支援拠点に御連絡下さい。 TEL : 099-214-3740 FAX : 099-223-7117		(住所) 薩摩川内市西向田町6番32号
大隅よろず相談窓口 (鹿屋市産業支援センター内)			(住所) 鹿屋市北田町3番3-23号
奄美大島よろず相談窓口 (奄美大島商工会議所又は大島支庁内)			(住所) 奄美大島商工会議所: 奄美市名瀬入舟町12-6 大島支庁: 奄美市名瀬永田町17-3
プロフェッショナル人材戦略拠点	099-219-9277	099-219-9266	projinzai@kric.or.jp
鹿児島県事業承継支援事務局	099-219-8123	099-219-1279	syoukei@kric.or.jp

《ご利用ください》

公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ出向・移籍の

送出企業

お手伝いをしています

受入企業



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時 ※離職前にご相談ください

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。(ご利用は無料です)

- 離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー(有料)も行います。



お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人
産業雇用安定センター
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



ISO審査
教育・研修

ISO広場

JAB・ANAB を選べる審査代理店

地元で安心
コストも安い

南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3344-2
TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078
URL: <http://www.minami-sinsa.com> お気軽にご相談ください

情報 KISC 2018. 5月号 (季刊誌: 年4回発行)

発行者: 公益財団法人 かがしま産業支援センター
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL: 099-219-1270 (代表)
FAX: 099-219-1279
E-mail: kisc@kric.or.jp
URL: <http://www.kric.or.jp>